【別紙】校務支援システム再構築及び運用保守業務　選定審査評価項目

審査する委員	審査対象	審査項目		作成（実施）における注意点		審査ポイント	評価配点 持分	配点比率
選定委員	提案書	1	提案事項を実施するにあたっての取組方針	1	【本市の課題、基本方針及び提案全体の考え方】 本市の情報化、新教育ネットワーク構想及び校務支援システムの課題を理解した提案全体の考え方	仕様書及び本市方針の理解、具体的な課題解決性	475	5%
				2	【教育委員会及び学校の状況を踏まえた目指す姿】 他自治体の教育委員会における導入状況・課題を踏まえた本市の方向性及び目指す姿	教育委員会及び学校を取り巻く状況への理解		
				3	【教職員負荷軽減及び導入時の定着方針】 学校運営及び導入時の教職員負荷への対応方針	教職員へのフォロー、負担軽減及び定着性		
		2	業務の実施における重要ポイント	1	【構築スケジュール、リスク及び対応策】 設計、テスト、移行等を含む構築スケジュール	必要工程、リスクポイント及び対応策		5%
				2	【本市、ネットワーク構築事業者、運用事業者等との役割分担】 構築・運用保守における本市及び関係事業者との役割分担並びに職員負荷軽減	教育ネットワーク構築・運用事業者等との責任分界		
				3	【プロジェクト管理、品質、課題、リスク、変更管理】 スケジュール遵守及び品質確保のためのプロジェクト管理	工程管理、品質、課題、リスク、変更、会議体		
				4	【納品物】 本業務の納品物	仕様書との整合、納品時期及び内容		
				5	【保守及び運用フェーズのサポート】 具体的な保守作業及び運用フェーズのサポート	障害、問い合わせ、報告、改善、制度改正、契約終了時支援		
		3	調達要件	「校務支援システム再構築及び運用保守業務に関する調達仕様書／5 調達要件」に記載の各要件の実現方法を示すこと。		・調達仕様に示す、各調達要件に対する実現方法が提案されているか ・調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか ※リソースの提案については、採用するための適切な根拠が示されているか		12%
				1	データ連携要件の具体的な実現方法			
				2	文字要件の具体的な実現方法			
				3	データ移行要件の具体的な実現方法			
				4	クラウド環境構成及びサーバリソース			
				5	クライアント対応（端末設定の具体的手順）			
				6	サーバ環境の分離に関する具体的な実現方法			
				7	運用機能、非機能要件の具体的な実現方法			
				8	セキュリティ要件の具体的な実現方法			
				9	他社システムとの違いや提案システムの優位性			
		4	体制及び実績	1	【実施体制及び主要従事者の業務実績（実施体制）】 本業務の実施体制として、人員配置、業務管理体制（品質管理、進捗管理、問題把握等）等を示すこと。	・本プロジェクト実行に必要充分な要員配置、管理体制となっているか		7%
				2	【実施体制及び主要従事者の業務実績（従事者の業務実績）】 プロジェクト人員の類似業務実績を示すこと。プロジェクト人員については、具体的な担当者名を示すこと。	・リーダーは、本市以外に同規模自治体における十分な実績が存在するか ・本業務を進めるうえで十分な人数の体制となっているか ・プロジェクト人員が有効な資格を保有しているか ・十分な実績を持った人員が、本案件に関わる割合（プロジェクト全体のどれくらい）を評価する。		
				3	【類似業務実績】 他自治体における本業務（校務支援システム）と類似したシステム構築・保守業務の類似実績を示すこと	・本市と同規模以上の自治体での類似業務の導入実績（規模・実績件数）が複数あるか ※様式5「類似業務実績調書」と合わせて評価する		
		5	追加提案等	1	【追加提案】 調達仕様書　10　その他の提案を求める要件　①教職員のサポートに関する追加提案について理解し追加で提案はあるか。また、追加提案で提案の内容は十分かつ必要な提案か。	・追加提案は、本市にとって有益な内容となっているか ・追加提案は、追加費用等の条件なく実施されるか		3%
				2	【追加提案】 調達仕様書に記載がない部分において、追加で事業者独自の提案はあるか。また、追加提案で提案の内容は十分かつ必要な提案か。	・追加提案は、本市にとって有益な内容となっているか ・追加提案は、追加費用等の条件なく実施されるか		
				3	【仕様書との差異及び前提条件】 調達仕様書の記載内容と相違（調達仕様を満たさない提案）がない前提で提案書を作成すること。万が一相違（調達仕様を満たさない提案）がある場合は、理由とともにその内容を示すこと。	・提案内容と調達仕様書の内容に相違（調達仕様を満たさない提案）がある場合には、その箇所と理由が記載されているか ・その相違は、本市にとって許容できるものか		
		操作デモンストレーション		本市が別途示す操作シナリオに基づき、操作デモンストレーションを実施すること。		・本市が提示する操作シナリオに基づき実施される校務支援システムの操作デモンストレーションは、本市が要求する機能要件と合致した内容か。	100	7%
						・下記の視点でそれぞれ評価する。なお、本評価は以下の5段階として評価する。 A：非常に優れており、本市に有益な工夫が有るなど、十分に満足できる B：優れており、満足できる C：満足できる D：軽微な瑕疵や問題点がある E：重大な瑕疵や問題点がある		
						・画面の見やすさ		
						・使いやすさ（操作性、画面遷移等）		
						・サポート機能（ガイド、入力補完、ミス防止等）		
						・パッケージシステムの印象		

【別紙】校務支援システム再構築及び運用保守業務　選定審査評価項目

審査する委員	審査対象	審査項目	作成（実施）における注意点	審査ポイント	評価配点 持分	配点比率
提出資料から事務局が算出	プレゼンテーション・意見交換		提案書の内容について、プレゼンテーション及び意見交換を実施すること。	下記の視点でそれぞれ採点する。 ・熱意・積極性・意欲 ・プレゼン資料の分かりやすさ・見やすさ ・プレゼン内容の的確さ（提案書との整合性） ・説明の分かりやすさ・聞きやすさ ・タイムマネジメント （既定の時間内で、プレゼンテーションの内容を適切に配分できているか。プレゼンテーションが長すぎたり、短すぎたりということがないか） ・質問への回答の的確さ、分かりやすさ ・全体の印象	300	20%
	システム機能要件及び帳票要件の適合性		別紙2「校務支援システム機能要件・帳票要件一覧」及び別紙4「その他提案機能要件・帳票要件一覧」に記載された機能・帳票について、提案するパッケージとの適合性を示すこと。	本市が定義する方法による	400	27%
	見積金額		本業務を遂行するうえで必要となる全ての費用（システム開発費用及び保守運用費用等）の明細を記載すること。システム開発に関する費用に加え、令和10年1月1日から令和14年12月31日までの運用保守費用も含めること。	本市が定義する方法による	225	15%
合計					1500	100.0%

【評価無効事項について】
審査項目1～4の評価（審査員平均値で評価）が1項目でもEとなった場合、調達仕様書その他の仕様を満たさないと判断して無効となる。

【評価配点凡例】
A：本市が求める要件を十分満たし、また、本市にとって有効な提案者独自の追加提案もあり、非常に優れた提案である
B：本市が求める要件を十分満たし、優れた提案である （＝A×3／4）
C：本市が求める要件を満たした提案である【要件どおりの提案である場合】（＝A×2／4）
D：本市が求める要件を一部満たしていないが、他の代替方法等により要件を満たすことが出来る提案である（＝A×1／4）
E：本市が求める要件を満たしていない、非常に低い水準の提案である（提案がない場合を含む）（＝A×0／4）